

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 学部

(1) アジア太平洋学部

アジア太平洋学部は、アジア太平洋学部学部則に定めた教育研究上の目的を達するため、卒業要件を定めるとともに、卒業時に修得すべき学修成果として以下の3点に整理する。

(卒業要件)

- ・ 所定の期間在学し、以下に定める履修要件を満たし、要卒科目を合計 124 単位以上修得すること。
- ・ 共通教育科目 40 単位以上の修得。ただし、以下の要件を満たすこと。
 - ①日本語基準学生は英語科目 24 単位以上、英語基準学生は日本語科目 16 単位以上の修得。ただし、入学時の言語運用能力によって、英語科目、日本語科目の免除制度を別に設ける。
 - ②選択した学修分野で指定された共通教養科目 2 単位以上の修得。
- ・ APS 専門教育科目 62 単位以上の修得。ただし、選択した学修分野で指定された専門教育科目 28 単位以上の修得。
- ・ 日本語基準国内学生は英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目 20 単位以上の修得。
- ・ なお、詳細な履修要件は、アジア太平洋学部学部則に定める。

(学修成果)

1. 学問的知識・理解

- 1-a. アジア太平洋地域を中心にグローバルな社会についての基礎的および関連する知識を身につけている。
- 1-b. 「環境・開発」「観光学」「国際関係」「文化・社会・メディア」の4つの学修分野のいずれかを体系的に理解している。
- 1-c. 変化し続けるグローバルな社会について学問横断的に理解している。

2. 能力とスキル

- 2-a. 論理的・批判的に思考することができる
- 2-b. 専門・技術的なスキルを身につけている。
- 2-c. 思考において、また、自分の考えを表現する際に創造性を発揮できる。

3. 社会関与

- 3-a. 少なくとも1つの第2言語に精通している。
- 3-b. グローバル社会において、異なる文化・価値をもつ他者と適切にコミュニケーションを取ることができる。
- 3-c. グローバルな視点から、リーダーシップを発揮しつつ、責任ある行動を取ることができる。

(2) 国際経営学部

国際経営学部は、国際経営学部学部則に定めた教育研究上の目的を達するため、卒業要件を定めるとともに、卒業時に修得すべき学修成果として以下の4点に整理する。

(卒業要件)

- ・ 所定の期間在学し、以下に定める履修要件を満たし、要卒科目を合計 124 単位以上修得すること。
- ・ 共通教育科目 40 単位以上の修得。ただし、以下の要件を満たすこと。
 - ①日本語基準学生は英語科目 24 単位以上、英語基準学生は日本語科目 16 単位以上の修得。ただし、入学時の言語運用能力によって、英語科目、日本語科目の免除制度を別に設ける。
 - ②学部指定の必修科目 4 単位以上の修得。
- ・ APM 専門教育科目 62 単位以上の修得およびそのうち必修専門教育科目 20 単位の修得。
- ・ 日本語基準国内学生は英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目 20 単位以上の修得。
- ・ なお、詳細な履修要件は、国際経営学部学部則に定める。

(学修成果)

1. ビジネス・エシックスを理解する
 - 1-a. ビジネス・エシックスの基礎的な理論や原理を理解する。
 - 1-b. ビジネス・エシックスの意義や重要性を示す。
 - 1-c. 倫理的問題を分析し、解決策を提示する。
2. 基礎的な専門知識を取得する
 - 2-a. 基礎的なビジネス概念の理解力を示す。
 - 2-b. 一定水準の文章力やプレゼンテーション力を示す。
 - 2-c. 適切な分析ツール（定性的・定量的）を用いて、ビジネスの問題を検討する。
 - 2-d. 問題解決能力を示す。
3. 異文化コミュニケーション能力について学ぶ
 - 3-a. コミュニケーションの仕方に文化が影響していることを理解し、それを表現する。
 - 3-b. 多文化環境において効率的にコミュニケーションをとる。
 - 3-c. 少なくとも 1 つの第 2 言語に精通している。
4. グローバルな視点を身に付ける
 - 4-a. グローバル化のインパクトを理解する。
 - 4-b. ビジネス環境が国によって異なることを、例示して説明する。
 - 4-c. ビジネス・マネジメント分野におけるグローバルな出来事を認識する。

2. 大学院

(1) アジア太平洋研究科

① 前期課程・アジア太平洋学専攻

アジア太平洋研究科前期課程・アジア太平洋学専攻は、アジア太平洋研究科研究科則に定めた教育研究上の目的を達するため、修了要件を定めるとともに、修了時に修得すべき学修成果として以下の3点に整理する。

(修了要件)

- ・ 所定の期間在学し、以下に定める履修要件を満たし、修了要件科目を合計 32 単位以上修得すること。
- ・ 修了要件科目のうち、基礎分析科目 4 単位、アジア太平洋地域関連科目 4 単位以上、演習科目 4 単位以上、主要科目のうち該当する研究分野科目 10 単位以上修得すること。ただし、自由科目は修了に必要な単位数に含まない。
- ・ 修士論文または特定の課題（研究レポート）による研究の成果についての審査を受け、その審査に合格すること。
- ・ なお、詳細な履修要件は、アジア太平洋研究科研究科則に定める。

(学修成果)

1. アジア太平洋地域が直面する多様な諸課題の広範な知識と理解
 - 1-a. アジア太平洋地域を中心にグローバルな社会についての重要な社会科学に関連する諸課題について理解している。
 - 1-b. アジア太平洋地域とその他の地域における諸課題の違いを理解している。
2. 高度な専門知識
 - 2-a. 専門分野において重要となる理論を理解している。
 - 2-b. 研究上で重要な領域についての最新の状況を理解している。
 - 2-c. 標準の手法と分析ツールを活用して理論を表現できる。
3. グローバルな視点
 - 3-a. アジア太平洋地域を中心とした学際的な理論と、どのように他の地域と関わりあっているのかについて理解している。
 - 3-b. グローバルな視点から見たアジア太平洋地域を批判的見地から理解している。

② 前期課程・国際協力政策専攻

アジア太平洋研究科前期課程・国際協力政策専攻は、アジア太平洋研究科研究科則に定めた教育研究上の目的を達するため、修了要件を定めるとともに、修了時に修得すべき学修成果として以下の3点に整理する。

(修了要件)

- ・ 所定の期間在学し、以下に定める履修要件を満たし、修了要件科目を合計 32 単位以上修得すること。
- ・ 修了要件科目のうち、基礎分析科目 4 単位、アジア太平洋地域関連科目 4 単位以上、演習科目 4 単位

以上、主要科目のうち該当する研究分野科目 10 単位以上修得すること。ただし、自由科目は修了に必要な単位数に含まない。

- ・ 修士論文または特定の課題（研究レポート）による研究の成果についての審査を受け、その審査に合格すること。
- ・ なお、詳細な履修要件は、アジア太平洋研究科研究科則に定める。

(学修成果)

1. アジア太平洋地域が直面する多様な諸課題の広範な知識と理解
 - 1-a. アジア太平洋地域を中心にグローバルな社会についての重要な社会科学に関連する諸課題について理解している。
 - 1-b. アジア太平洋地域とその他の地域における諸課題の違いを理解している。
2. 高度な専門知識
 - 2-a. 専門分野において重要となる理論を理解している。
 - 2-b. 研究上で重要な領域についての最新の状況を理解している。
 - 2-c. 標準の手法と分析ツールを活用して理論を表現できる。
3. グローバルな視点
 - 3-a. アジア太平洋地域を中心とした学際的な理論と、どのように他の地域と関わりあっているのかについて理解している。
 - 3-b. グローバルな視点から見たアジア太平洋地域を批判的見地から理解している。

③ 後期課程・アジア太平洋学専攻

アジア太平洋研究科後期課程・アジア太平洋学専攻は、アジア太平洋研究科研究科則に定めた教育研究上の目的を達するため、修了要件を定めるとともに、修了時に修得すべき学修成果として以下の4点に整理する。

(修了要件)

- ・ 所定の期間在学し、以下に定める履修要件を満たし、修了要件科目を合計 30 単位修得すること。
- ・ 修了要件科目のうち、博士学位候補必要科目 24 単位を修得し、博士学位候補資格審査に合格し、博士学位候補者となること。
- ・ 博士学位請求論文の提出による研究の成果についての審査を受け、その審査に合格すること。
- ・ なお、詳細な履修要件は、アジア太平洋研究科研究科則に定める。

(学修成果)

1. アジア太平洋地域が直面する多様な諸課題の広範な知識と理解
2. 高度な専門知識
3. 基礎的な研究を遂行する能力
4. グローバルな視点

(2) 経営管理研究科

経営管理研究科は、経営管理研究科研究科則に定めた教育研究上の目的を達するため、修了要件を定めるとともに、修了時に修得すべき学修成果として以下の4点に整理する。

(修了要件)

- ・ 所定の期間在学し、以下に定める履修要件を満たし、修了要件科目を合計44単位以上修得すること。
- ・ 修了要件科目のうち、基礎分析科目2単位、コア・ビジネス・ファンダメンタル科目16単位、キャップ・ストーン科目2単位、選択科目8単位以上、演習科目6単位修得すること。ただし、自由科目は修了に必要な単位数に含まない。
- ・ 修士論文または特定の課題（ファイナル・レポートまたはインターンシップに基づくケース・スタディー）による研究の成果についての審査を受け、その審査に合格すること。
- ・ なお、詳細な履修要件は、経営管理研究科研究科則に定める。

(学修成果)

1. ビジネス・エシックス

- 1-a. 倫理モデルまたはフレームワークを使用して、倫理的ジレンマの実用的な解決策を策定する。
- 1-b. 現代のビジネス問題の倫理的影響を評価する。

2. 高度な専門知識

- 2-a. 研究分野における高度なビジネス概念の理解力を示す。
- 2-b. 高度な分析ツール（定性的かつ定量的）を用いて、ビジネスの問題を検討する。
- 2-c. ビジネスソリューション開発のための知識を機能的に統合する。
- 2-d. 高レベルのライティングおよびプレゼンテーションスキルを示す。

3. イノベーション・センス

- 3-a. 事業環境におけるイノベーションの機会と課題を特定する。
- 3-b. 革新的なビジネスおよび/または研究プロジェクトを設計する。

4. グローバルな視点

- 4-a. 国際的なビジネスにおける学問的な理論と実践を調和させる。
- 4-b. グローバルな問題の経営への影響を評価する。